

第1・第2学年 道徳科学習指導案

唐津市立鬼塚小学校

1 主題名 みまもってくれているひと【B感謝、B礼儀】

2 教材名 「みどりのおじさん・おばさん」

3 ねらい 毎日見守ってくれている人の思いを知り、感謝の気持ちを高め、進んで気持ちのよい挨拶をしようとする態度を育てる。

4 展開

過程	学習活動	○主な発問 ◎中心発問 ・予想される児童の反応	・指導上の留意点 ★評価方法
気付く	1 見守りの人に関するクイズに答える。	<ul style="list-style-type: none"> ○この服を着ている人は、誰でしょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・朝、立っている人 ・緑のおじちゃん ○鬼塚小の緑のおじさん・おばさんは、全部で何人いるでしょう。 (答え：令和6年度29人) ○緑のおじさんたちには、どんな係があるでしょう。 (答え：朝に立つ人、帰りに立つ人、一緒に歩いてくる人) ○緑のおじさん・おばさんたちは、お仕事でしているのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クイズに答えることで、毎日会う見守りの方のことを想起させ、本時の学習への関心を高める。 ・自分が会うのは数人だとしても、校区全体ではたくさんの方がいることを理解させる。 ・見守りの役割が決まっていることを理解させる。 ・委託職員の交通指導員とは異なり、ボランティアだということをおさえる。
	2 いつも見守ってくれている理由を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ○緑のおじさん・おばさんが、毎日見守ってくれているのは、どうしてでしょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが危なくないように。 ・交通事故に合わないように。 	
考える	3 見守りの方の思いを知り、話し合う。		
	(1) インタビュー動画を見る。	<ul style="list-style-type: none"> ○緑のおじさんが、インタビューに答えてくれたので、動画を見ましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大変なことや良かったことなど、いくつかの質問に答えてもらったインタビュー動画を見せる。 ・動画を見せることで、感謝の気持ちを高めると共に、自分たちに足りない礼儀について気付かせる。
	(2) 思ったことやわかったことを交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ○動画を見て、思ったことやわかったことを話しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出た意見を「感謝に関すること」「これから気を付けたいこと」「その他」に分けて板書しながら、

<p>友達タイム みんなでタイム</p> <p>深める・広げる</p> <p>(3) いつも見守ってくれている気持ちを考える。</p> <p>4 緑のおじさん、おばさんたちに伝えたいことを考えて、書く。</p> <p>ひとりタイム</p> <p>5 書いたことを発表したり、友達の発表を聞いたりする。</p>	<p>【感謝】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつもありがとう。 ・ぼくたちのことを守ってくれている。 <p>【気を付けたいこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気に挨拶をする。 ・自分から挨拶をする。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何年もしてくれて、すごい。 <p>◎ 緑のおじさん・おばさんが、毎日見守ってくれているのは、どんな気持ちがあるからでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと話すのが楽しい。 ・成長が楽しみ。 ・子どものことが好き。 ・みんなを守りたい。 <p>○ 緑のおじさん・おばさんたちにお話ししたいことを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつもありがとう。 ・いろいろな話をするよ。 ・これから元気にあいさつをするよ。 <p>○ 書いたことを発表しましょう。</p>	<p>「感謝」「礼儀」についての道徳的価値を深めていく。</p> <p>★ 発言</p> <p>・安全を守るためだけでなく、いろいろな思いがあって見守りをしてもらっていることをおさえる。</p> <p>・書く時間と、発表する時間を十分確保する。</p> <p>★ ワークシートの記述</p> <p>★ 発言</p>
--	--	---

5 評価の視点

- ・見守りの方についての自分の考えをもち、それを伝えたり友達の考えを聞いたりして、交流することができたか。
- ・見守りの方の思いを知り、感謝の気持ちをもつことができたか。
- ・これから進んで気持ちのよい挨拶をしようという意欲をもつことができたか。

6 板書

まわりの人 みどりのおじさん・おばさん

まいにち、みまもってくれている

顔写真

はじめた りゆう

よかったこと・うれしいこと

たいへんなこと

おに小のこともたちに つたえたいこと

うれしい。てがみをかきたい。もつてきてほしい。いつもありがとう。

あいつ。すしわろい。げんき うれしい。こどもおじさん。とんとんあいさつをしていく。大きなこえ うちゅう

まもってくれて さむいときも、あついときも かんばってくれて、すごい。

子どものいのちがたいせつ
こうつうじからまもる
ふしんしゃからまもる
いろいろなひと、こどもにあいたい。
みんなのせいちゅうがたのしみ
おはなしがたのしい



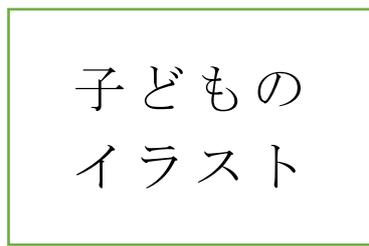
みどりのおじさん・おばさん

()ねん ()くみ

なまえ()

みどりのおじさん・おばさんに、はなしたいことを かきましょう。

Large rounded rectangular area with three horizontal dashed lines for writing.



【きょうの とうとくの ふりかえり】 🌸◎○△

- ① みどりのおじさん・おばさんたちの きもちが わかった。()
- ② じぶんの かんがえをつたえたり、ともだちの かんがえを きいたり することができた。()
- ③ みどりのおじさん・おばさんたちに、はなしたいことを かんがえることができた。()

【児童のワークシートの記述】

- ・いつもいのちをまもってくれて、ありがとう。
- ・いつもいてくれて、うれしい。これからもやめないでね。6年生になるまで、いてね。
- ・いつもあいさつをしてくれて、ありがとう。これからもよろしくね。
- ・いつもがんばってくれて、ありがとう。きけんからまもってくれて、ありがとう。
- ・ありがとう。こころもきもちよくなるよ。
- ・いつもありがとう。こんどは、ぼくがあいさつするね。